〜おおいしだめとんとむがすあったけど③~

白すずめ

ころが、この夫婦、そろって朝寝坊ばりしているので、だんだあるどごろさ、何不自由なく暮らしった夫婦があったけど。と ん生活が苦しくなっていったけど。 むかし、あったけど。

と聞いだけど。ほしたら、

て言ったけど。そこで、友だちは、 「おら、白すずめなの見だごどなえ。

と教えだげど。 「白すずめを見ると、幸せになるっていうがら、 ぐ起ぎで、白すずめをさがせ。」 明日から朝

が、牛乳の入ったバケツを二つさげて出てきたど。 めをさがしに牛小屋に行ってみだら、下女 (下働きの女のひと) 「こりゃ、牛乳をないしょで売る気が。」 友だちの言ったことを信用して、次の朝、早く起ぎで白すず

俵をかづいで出てきたど。 今度は、蔵に行ってみだら、下男(下働きの男の人) と言って、バケツを取り上げだけど。

> が、 麦紫

と言って、麦俵を下男から取り上げだけど。 「この野郎、麦俵をないしょで売るごどあんまえ。」

取ってご覧ください。

中学校図書館などに所蔵し

は町立図書館や町内の各小

『大石田のとんとむがす』

の会によるお話です。

ていますので、ぜひお手に

ほして、家に帰り

それで、友だちが見かねて、

「おまえ、白すずめを見たことあっか。」

どんびん すかんこ さるまなぐ ○出典『大石田のとんとむがす

ている大石田とんとむがす 町内で昔語り活動を行っ

とんとむがす 大石田とんとむかか会

「かがあ、かがあ、起きろ。おらだが寝ているこまえ(間)に、 げ貧乏になんなだ。明日がら、朝早ぐ起ぎで、下男、下女を みんなないしょで牛乳どが麦俵どが持っていがれる。

なまけないで働けということを教えてけっだんだなあと悟った て言ったけど。 ほごではじめて、 ちゃんと使え。」 友だちが白すずめをさがせと言ったのは、

(大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年

防災情報や各種行政情報を 登録を

登録方法

右の二次元コードを読み取って友だちに追加して ください。



防災放送の内容を 電話で確認できま

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。 このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順を関くことができます。

間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

Tel35-2111

町の人口 令和6年6月1日現在		
世帯数	2,236戸	(+5)
総人口	6,060人	(-10)
男	3,012人	(-5)
女	3,048人	(-5)
(自己中心田野)		

出生 0人 5人 転入 9人 6人 転出 死亡

※この人数は外国人も含めたものです。